

八鹿病院ニュース

平成 17 年 1 月 発行 / 八鹿病院広報委員会 <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp/>

公立八鹿病院基本理念

『私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。』

新年のご挨拶

院長 岩井 宣 健

明けましておめでとうございます。

世界の急激な人口増加により、地球環境は確実に悪化しております。最近では、その影響と思われる気温上昇に伴う暖冬、高潮や台風の頻発などの気象の変化がみられ、今後はこれが恒常化することが予想されています。私たちは、地球人としてもっと地球を考えるべきでしょう。但馬地方は昨年台風23号により甚大な被害を蒙りました。被災された皆様方には、改めてお見舞い申し上げますと共に、本年は平穏で幸せな年となることを祈っております。

今年は八鹿病院にとりましては大きな変化の年となります。平成14年に5ヶ年計画で着工した新病院建設は、昨年11月に第一期工事としての新病棟が完成し、12月に引越しを行ない、今月より新病棟が稼働します。外来も移動しました。新病棟は病室、廊下共に以前より大巾に広く、全室トイレ付きですので、快適な療養環境が整備できたと思っております。しかし、引き続き二期工事に入りますので、再び騒音が発生しますが、可及的療養環境への影響を少なくすむように努力いたしますので、ご理解賜りたいと存じます。

また、来年より八鹿病院も院外処方を実施いたします。これは医薬分業とも言い、薬剤師の専門性がより発揮できるような制度です。薬の受け取りが病院の外の薬局でしかできないという不便さはありますが、薬の作用や副作用についての詳しい説明や重複投薬の防止など薬についての安全性の高まりや待ち時間の短縮などの利点があります。この点もご理解賜りたく存じます。

新しい器に新しい内容を盛り込むように、職員一同努力する所存ですので、何卒よろしくお願い致します。

事務部長 高木 俊 雄

明けましておめでとうございます。本年が皆様にとりまして佳い年でありますようお祈り申し上げます。

さて、平成14年6月に着工しました第1期工事が完成し、12月末から新病院（高層建物）がオープンいたしました。ご覧のとおりこれまでの病院のイメージからほど遠く、ホテルにでも入ったような錯覚さえ覚えるものです。建物は免震構造で、阪神淡路大震災規模の地震にも耐えられる設計となっています。又外壁は、八鹿の町並み景観を壊さないようにと土壁をイメージした黄土色のタイルが使用されています。廊下、病室には木目調を基調にした暖かみのある室内、2つの光り窓により自然光を取り入れた明るい室内です。それぞれの階には変化を持たすようカーペットやドアの色調も工夫されています。又病室は旧病棟より面積も広く、それぞれの病室にはトイレが設置されています。

このようにすばらしい病院が完成し、安全で快適な療養生活を送って頂けることを嬉しく思うものですが、建物だけが綺麗になっても人が変わらなかつたらダメだという厳しい言葉も頂戴致しております。昨年は病院機能評価機構から認定証をいただき、第3者からも認められた一流病院であるといささかの自負もありますが、まだまだ行き届かない面、満足頂けない点が多くあるのが現状です。皆様のご指導をいただきながら患者様に信頼される病院となるよう更に努力いたす所存でございますのでよろしくお祈り申し上げます。

看護部長 米 田 節 子

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しく御願致します。

2005年の節目の年に新病院病棟部門が完成し、新年の幕開けと共に稼働の運びとなりましたことを大変嬉しく思っております。

年末の慌ただしい時に病棟と、外来の一部の移動を致しましたがスムーズに事故なく終了できましたことは、患者様やご家族の皆様のご協力のおかげと心からお礼を申し上げます。

さて看護部では毎年年初に一年間の活動目標を掲げていますが、新病棟が完成した本年の目標は「チームの力を結集し新しい体制を整え、みなさまに満足していただける看護をめざそう」としました。と申しますのは、新病棟では2つの病棟が増え、内科や外科などの科別の病棟編成も変わりました。併せて看護職の勤務配置転換も行い移転を機に新チームでスタートしています。また、新しい医療機器や看護用品を導入し、オーダーシステムも変わりました。しかし、外来はまだ工事中の為、受診していただく経路も複雑になり大変ご迷惑をおかけし申し訳なく思っています。

このような中で、職員一人ひとりがしっかりと業務に邁進し、責任と緊張感を持って新たな勤務場所や体制に熱い意欲を燃やしております。そして一日も早く患者様の病気が回復されるよう、医師や看護師、他職種としっかりと連携を取らなければなりません。それぞれの病棟、外来がチームとして体制を整え力を合わせ、皆様方に満足いただける温かい看護をめざそうと新たにスタートしたいと考えています。一丸となって頑張りたいと思いますが、私達看護職に対する御意見やお気づきの点がありましたらどしどしお寄せ下さい。皆様方の声を看護に活かして少しでも看護が向上し成長するよう努力しながら業務していきたいと思っておりますのでどうぞ宜しく御願致します。

今年一年が皆様にとって健康でお幸せでありますよう祈念し私のご挨拶と致します。



新病院のご案内

全 景



外観は、低層の建物がほとんどの町並みの中で、今回の計画では新病院が町のどこからでも見えるシンボルとしての役割を果たすべく期待されており、地域の人々に親しまれ、ぬくもりと清潔感のある病院を目指しました。

建物の高さや外壁面に変化を持たせてスケールダウンを図り、また、外壁面はアースカラーを基本として、線状に清潔感を醸し出す白系の色をアクセントカラーとして使用します。

アースカラーの基本色は、八鹿町によくみられる大正時代からの土壁や民家等の色であり、今回の計画でもそのイメージを尊重した色でまとめ、色彩面でも町づくりをリードする役割を担っています。

西玄関



敷地中央部に構想部分を集約し周囲に3層の低層部分を配置することで周囲に配慮した計画とし、敷地周辺にオープンスペースを確保し緑化に努めました。玄関横には小石をちりばめ水を流しており、小川のせせらぎを造り出しています。諸室については換気についても中央で管理しているため、外壁に換気扇が見えずにすっきりとしたデザインとなっています。

受付・レストラン・防災センター



受付・お支払窓口・仮設外来・防災センター・レストラン



3 階



リハビリ・屋外訓練場

11病棟



がんの告知が医療にとって避けて通れない現在、苦痛に耐えることを患者に強要せず、患者さんの意思、意見が、反映される、がん末期患者に対する、新しい医療が提供できる病院とします。家庭での料理も味わえるように患者用キッチンも備えており、入院生活の中でも家族との信頼関係が保てるように配慮しています。

療養病棟（10階）



ベッドから転落する危険がある患者様用に和室も用意されています。

寝たままで入浴感を味わいプライバシーを保持するためにシャワーベッド（浴）を導入しました。老人の方が自分でシャワーを浴びやすいような設備となっています。

患者様の権利に関する宣言

公立八鹿病院職員一同は、医療の中心は皆様であり、医療が皆様との信頼関係に成り立つことを認識して、「患者の権利に関するリスボン宣言」に従って、皆様に次のような権利と責任があることを確認します。

1. 良質の医療を受ける権利.....差別されることなく、良質な医療を受ける権利があります。
2. 選択の自由の権利.....医療機関や医師を自由に選択し、また、変更する権利があります。
3. 自己決定の権利.....十分な説明のもとに、自分自身の治療を決定する権利があります。
4. 情報を得る権利.....医療上の全ての自己情報を知る権利があります。
5. プライバシーなどの機密保持を得る権利.....治療で医療従事者が知り得たすべての個人のプライバシーの機密保持を得る権利があります。
6. 人間の尊厳を得る権利.....尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるための、あらゆる可能な助力を受ける権利があります。
7. 療養や健康についての教育を受ける権利.....皆様には健康についての教育や、疾病の予防や早期発見についての教育を受ける権利があります。また、出来るだけ健康的な生活習慣を身につける責任があります。